

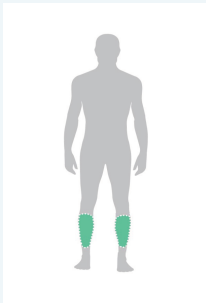
18% TBSAの液体熱傷に対するSPRAY-ON SKIN[™] CELLSを使用した治療

CASE STUDY / Hana Lopez-Quinones, MD / Jacobi Medical Center

患者の状態

沸騰している熱湯への接触による両下肢への深達性部分層熱傷を受傷した44歳男性。熱傷創は全周囲に及んでおらず、本症例報告ではRECELL[®] システムで治療を行った約18% TBSAの部位について述べることにする。この患者については、特筆すべき病歴はありません。

RECELL 治療部位



術前



RECELL治療5日後



右下肢 RECELL治療33日後



左下肢 RECELL治療33日後

結語

本症例では、18%TBSAの深達性部分層熱傷へのSpray-On Skin Cellsの使用により、患者が経験する術後疼痛や不快感が最小限に抑えられたことが示された。再上皮化が得られていることが術後5日目で、色素再生がRECELL使用後33日で確認された。

本紙に掲載している症例は、臨床成績の一部を紹介したものです。全ての症例で同様の効果を保証するものではありません。

治療法

この患者は受傷から1日目に疼痛管理、創傷治療、及び外科的デブリードマンの可能性評価のために入院。当初はハイドロセラピーによるデブリードマンを実施しSilvadene[®]とTelfa[™] Clearで被覆を行った。入院3日目に創部再評価を行い、幾つかの部位でⅡ度（深達性部分層熱傷）と中程度の焼痂様部位がある事が確認された。5日目にSpray-On Skin Cells使用による治療を行う決定が下された。

臨床的アウトカム

Spray-On Skin Cells使用後、患者は臨床的に安定した。術後経験した疼痛は最小限なもので麻薬使用は必要とされなかった。RECELLによる治療から1日後、理学/作業療法を行うことを勧められた。最初のドレッシング材除去がRECELL治療の5日後に行われ、ドレッシング材を剥がす際の痛みはなかった。治療後5日目、医師は約90%の再上皮化を認めた。Bacitracin 及びXeroform[™]を創部管理に使用し、術後33日目に顕著な色素再生が見られた。

製造販売元

COSMOTEC
コスモテック株式会社

製造元

avita medical

RECELL専用サイト

